

所在地 〒856-0835
長崎県大村市久原 2-1246-3

スタッフ 角森輝美 (特別専任教授)、
中村寿子 (講師)、岩本節子 (講師)、
平田真子 (助教)

URL <https://www.kwassui.ac.jp/university/gakubugakka/kangogakubu.html>



前列左から、平田助教、角森特任教授、
後列左から中村講師、岩本講師

活水女子大学看護部

看護学科公衆衛生看護領域

History and Now どのような機関なのでしょう？

教育母体の活水女子大学は長崎県で一番古い私立大学として、キリスト教を根幹に置いた大学です。創設者のエリザベス・ラッセルは出島メソジスト教会の要請に応える形で来日し、長崎到着わずか1週間後の1879（明治12）年12月1日、外国人居留地に同協会の精神的・財政的支援のもとで女子のための学校を始めました。当時、ラッセル宣教師はすでに43歳を迎えており、最初の学生はたった1人でしたが、ラッセル宣教師の深い信仰と豊かな愛によって日本における女子教育の草分けともいえる活水学院の礎石が置かれました。

校名は新約聖書に収められているヨハネによる福音書4章14節の「わたしが与える水を飲む者は決して渇かない。わたしが与える水はその人の内から湧き出し、永遠の命に至る水がわき出る」に由来しています。永遠の命を宿す「活ける水」はイエス・キリストご自身の象徴であり、その泉からわき出る水を飲む人はリフレッシュされ、永遠の命にいたる息吹がわき出ると約束されています。看護学部看護学科は2009（平成21）年4月に国立大村病院付属看護学校の大学化に伴い、歴史ある活水女子大学の教育に一元化されました。当初は女子だけの入学でしたが2025（令和7）年度から看護学部は男女共学となっています。学生は週に一度、学内のチャペルにおいてキリスト教を学びます。礼拝を受けながら看護専門職として人々の健康と生活を支援するために求められる知識・技術・態度・柔軟な思考力をのみならず、ま

さに看護の原点であるナイチンゲールの心を育てていきます。

Education どのような教育をしていますか？

公衆衛生看護概論は2年時から学び、公衆衛生看護を知った看護師として臨床に出ていきます。地域ケアが叫ばれる昨今、看護師と保健師という同じ看護職内の役割の違いを知ることが、将来の多職種連携の基盤になると考えます。保健師選択コースは、公衆衛生看護概論教育後2年次後期に15名以内の選考を行い、熱心教員から公衆衛生看護学系科目を学びます。実習場所は、市町、保健所、地域包括支援センター、学校、事業所と多岐にわたっています。

教員全員が、行政勤務が長く、現場での疑問を教育に生かし学生に投げかけ、学生は疑問の種を持ちます。保健師としてのマインドや、感性を持ち、生活する保健師を育てています。

Research どのような研究をしていますか？

それぞれの教員が「保健師教育」「地域包括システム」「離島保健師の人材確保・人材育成・定着」「社会保障」等をテーマに研究を行っております。

Collaboration 保健活動の現場とのつながりは？

大学が位置する大村市でのさまざまな事業への参加、保健師として就職した学生へのリカレント教育を考えております。



現場で働く保健師さんへ。あなたの保健師活動そのものが保健師学生に響くものですから、自信を持って学生に『語って』ください。肩を張る必要はありません、そして住民の近くにいてください。